

パソコンボランティア養成講座に関して

どのような活動をしていますか？

外出することが困難で、在宅でのサポートが必要な身体障害者のお宅に訪問して、障害のある方がより快適に、質の高い生活をおくれるようにパソコンサポートを実施しています。

特別な資格やパソコン知識・スキルは必要ですか？

経験・資格は問いません。パソコンが好き、人と接するのが好きという方を歓迎します。Windows の操作や Microsoft Office（Word や Excel）に関しての依頼もありますので、日常的に利用されているとスムーズに活動へ参加できると思いますが、自信のない方もボランティアとして活動しながらスキルアップしていきましょう。

養成講座ではどのようなことを習うのですか？

ボランティアとしてサポートするための心構えと知識や技術、主に視覚障害者が利用している機器やソフトウェアについて学習します。多くの視覚障害者が利用している高知システムの画面読み上げソフト「P C-Talker」の簡単な操作方法のほか、その他の視覚障害者支援ソフトを幾つか使用します。また、アイマスクを付けて、実際に視覚障害者がどのような環境でパソコンを使用しているのかを体験する時間もございます。

どのような依頼を受けることが多いですか？

人によって依頼内容は様々ですが、パソコンの設定、データの移動（パソコンからSD カードへの移動等）、ワード・エクセルの使い方、年賀状の作成等のサポートをすることが多いです。

令和3年度にお受けした主な依頼一覧

ソフトウェアの設定	16件
ZOOMに関して	7件
メールに関して	7件
データの移動・整理等	6件
年賀状・挨拶状等の印刷	5件

もっと詳しく学びたい！

パソコンボランティア養成講座を修了した方に向けて、年に6回、スキルアップ講座を開催しています。視覚障害者支援ソフトの使い方や、点字図書や録音図書をダウンロード、オンラインリクエストが出来る「サピエ図書館」に関して、掘り下げて勉強します。また、VoiceOver（iPhoneに搭載されている音声読み上げ機能）を使用して、音声によるiPhoneの操作を学ぶiPhone講座もございます。

パソコンを習得したいと思っている障害のある方はたくさんいらっしゃいます。ボランティアさんのちょっとしたサポートがあれば、多くの障害者がインターネットや電子メールが使えるようになり、「情報格差のない社会」へ一歩近づくきっかけにもなります。

ぜひとも皆様のお力・技能をお貸しください。

